

八戸工業大学 技術セミナー

「つくる」から 「未来を残す」建設へ ～建設資材から考える 環境配慮型建設～

開催日

令和8年
11/5
(木)

時間

16:00～17:10 開場 15:30～

会場

メイプル東館 地下会議室

住所：奥州市水沢字横町2-1 メイプル地階

定員

30名（事前申込制・先着順）

※申込締切 10/30(金)

参加無料

講演内容

演題

（仮題）コンクリート分野における
脱炭素に向けた取り組み

2050年カーボンニュートラル社会の実現に向け、様々な分野がCO2削減に取り組んでいる。セメント・コンクリート分野においても同様に関係各所で低炭素型・環境配慮型コンクリートの研究開発・実用化が進められており、今後さらに加速するものと考えられる。

本講演では、脱炭素化に向けた動向と取り組み、コンクリート分野における低炭素型・環境配慮型コンクリートの分類とそれぞれの技術について紹介する。



八戸工業大学 工学部 教授

講師

迫井 裕樹

〔講師紹介〕

2007年3月 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了。

同年4月 八戸工業大学に着任。現在に至る。

寒冷地におけるコンクリートの耐久性、特に凍害劣化および凍害を主とする複合劣化に関する研究のほか、コンクリート材料としての副産物の有効利用に関する研究活動を行う。土木学会、日本コンクリート工学会、建築学会、材料学会に所属。

主催：奥州市

お問合せ

奥州市企業支援室 担当：熊谷、亀井
☎0197-34-2331

お申込みは
こちらから

<https://logoform.jp/f/GeqNg>

